



ROTARY CLUB OF

# NARA - WEST

DISTRICT WEEKLY BULLETIN  
2650 No. 2507 2024. 5. 9

創立 1969年(昭和44年)12月13日  
例会日 毎週木曜日18:00より  
事務所 〒630-8001 奈良市法華寺町254番地  
例会場 奈良ロイヤルホテル内  
TEL 0742-34-1131 FAX 0742-30-2000

2023~2024年度  
国際ロータリーのテーマ

2023~2024年度  
地区のスローガン



世界に希望を生み出そう

## 「個性、基本、求心力」



2023-24年度 内輪会トロフィー

国際ロータリー会長  
ゴードン R. マッキナリー

RI第2650地区ガバナー  
中野 博美

会 長	中西 吉日出	副 会 長	有馬 康明	会長エレクト	佐川 寛一	直前会長	渡邊 巖	幹 事	笹本 麻琴
会 計	福川 益則	会場監督	野阪 幸男	理 事	井上 直治	理 事	谷垣 嘉輝	理 事	川野 隆祐
理 事	松中 隆	会報委員長	岡崎 義幸						

### 今月は 青少年奉仕 月間です

第28回(2507回)例会プログラム令和6年5月9日(木)

1. 開会宣言 点鐘
2. ソング 「君が代」「奉仕の理想」
3. 来訪者紹介・出席報告
4. 会長の時間・理事会報告
5. ニコニコ報告
6. 委員会報告・幹事報告
7. 成瀬 有紀様 「少林寺拳法について」
8. 閉会宣言・点鐘

### 第27回 (2506回) 例会報告 2024. 4. 25

## 早朝移動例会

靈山寺にて

### 出席報告

	会員数	出席計算 免除会員数	出席会員数	欠席者数	出席率
通算2506回	36	3/7	19/29	10	68.8%
通算2504回修正	36	5/7	21/29	8	76.5%

### 会長の時間 (中西会長)

おはようございます。今年度恒例になりました、靈山寺での2度目の早朝例会です。会員の皆様朝早くから例会に参加ありがとうございます。

そして、東山管長様に本日も開経偈・懺悔文・般若心経を唱えていただきました。又、法話で、仏教で言う鼻にまつわるお話もしていただきました、内容については今管長さんが言われました事、考えさせられる事が多いと思います。毎回ためになるお話で恐縮いたしております。ありがとうございます。

さて、本年も異常気象が続き桜も開花が遅くなりましたが、見ごろが長く続いたのが幸いしたのか、2650地区、地区大会の時も満開で綺麗でしたが、気温が少し低く寒いくらいでした。そのせいか、これから農業を営んでおられる皆様、米作りをされている方々も田に草が生えていて、その草を除去するのに土お越しをするのにも水が中々引かず、苦勞されていると思います。日本の食生活はお米ですので美味しいお米を作って頂きたいです。

さて、早朝例会は毎年2回行われていますが、平城京との合同例会は、ホストが、2年に1度回ってきます。今年度は奈良西ロータリーがホストで、靈山寺で行われますので、東山管長様度々お世話になりますが、何とぞよろしくお願いたします。以上で会長の時間とさせていただきます、ありがとうございました。



## ニコニコ報告

### 中西吉日出会長

霊山寺の早朝例会、東山管長様お世話になります。

有馬康明P会長、渡邊巖P会長、植野洋志P会長、谷垣嘉輝会員、松山悦啓会員、野阪幸男会員、小松玲子会員、福川益則会員、木村和弘会員、加藤又拓会員、岡崎義幸会員、丸山佳映会員  
霊山寺の清々しい朝、本日の早朝例会と茶粥の朝食楽しみにしています。  
東山管長よろしくお願い致します。

### 笹本麻琴会員

みなさま早朝例会ご苦労様です。  
早朝は気分が良いです。ニコニコ



## 出席表彰



### ■ 4月出席表彰 ■

中西	吉日出会員	(在会23年)
松山	悦啓会員	皆出席1年(在会15年)
相澤	万裕子会員	皆出席1年(在会12年)
松中	隆会員	皆出席1年(在会8年)
中井	肇一会員	皆出席1年(在会6年)

皆様、おめでとうございます！

## 東山管長の法話

### 「梟と鳥」

お釈迦さまの前世における物語『ジャータカ』をはじめ多くの仏教典籍(仏典)には、牛や象などの動物から、鳥や昆虫、さらには空想上のものまで、さまざまな生き物のエピソードが記されています。今朝は仏教における動物観や動物に託された教えについて紹介いたします。

### 農耕地の守り神

フクロウはヨーロッパからアジアの中北部に広く分布している夜行性の猛鳥で、日本では北海道から九州までに生息しています。平地、低山の大きな木がある広葉樹林などに棲んでいて、樹洞に巣を作ります。全長は50センチほどで、平たい顔に目が二つ正面についています。目は暗い林の中でもよく見えます。聴覚にも大変すぐれ、聴力だけで獲物をしとめることができます。「夜の狩人」の異名があり、夜ふけに音もなく飛んで小さな哺乳類などを捕えます。古代の農耕社会では、畑鼠や害虫を捕食するフクロウは、大地の豊穡をつかさどる神である



地母神に付き添う聖鳥の一種とされていました。

### 鳥の王

インドでは、カラスとフクロウは仲が悪いといわれていますが、その起こりは次のような出来事にありました。昔、人間や動物たちがこの世に出現した頃、人間たちはみんなを取りまとめ率いてくれる人物を自分たちの中から選び出そうと考えました。人間たちは相談して、上品でいかめしく、あらゆる点で優れている人物を王として選びました。

人間たちが王を選び出したことを知った動物たちは、負けてはいられないと大急ぎで集まり、1頭のライオンを王に選び出しました。遅れをとってはならないと、海の魚たちもアーナンダという魚を王に選び出しました。すると、鳥たちもヒマラヤのある岩の上に集まって、どの鳥を王に選ぼうかと相談し合いました。

「王さまにぴったりの鳥はワシだ」

「いや、小さいけれどハトがいい。それとも美しいジャクか、そのどちらかだ」

「いっそのこと、どうだろう。ちいさいけれどもフクロウなら威厳もあり頭も良さそうだし、ぴったりじゃないか」

みんなの意見は、ほぼフクロウに決まりかけました。

「フクロウを我らの王にしよう」

そこで1羽の鳥が、全員の意向を取りまとめるために3回宣言しました。かれが宣言した時、2回目までは承認されましたが、3回目が宣言された時、1羽のカラスが口をはさみました。

「ちょっと待ってほしい」

カラスはさも不満そうに鳴き声を上げ、歌を唱えました。

「みんなの意見でフクロウが 我らの王になるという はっきり言ってこのおれは 絶対反対、反対だ」

今度は、鳥たちがカラスに向かって歌い返しました。

「反対するならそのわけを 筋道立てて話さない 若さあふれたあなたには 知恵もあふれているようだ」

そこでカラスは歌で答えました。

「みんなの幸せ望むから フクロウ王に反対だ 怒っていない普段でも ようご覧よあの顔を どんぐり眼にしわの顔 もしも怒ったその時は きっとすごいぞあの顔は」

カラスはそう言うと、「おれは、フクロウなんて大きらいだ」と大声で叫びながら、空高く飛び去っていきました。これを聞いたフクロウは、顔を真っ赤にして怒り、すぐにカラスの後を追って飛び立っていきました。

カラスとフクロウの仲が悪くなったのはそれからです。

カラスとフクロウが居なくなった後、鳥たちは、再び長い時間をかけて意見を出し合いました。その結果、黄金のガチョウを王に選び出したということです。

### 瞋恚を戒める

お釈迦さまは王子として生まれる前、さまざまな生き物として生まれ変わり、善行を積んだ結果、ブツダ(覚者)となりました。

このお話は、お釈迦さまがインドの祇園精舎に滞在している時に、カラスとフクロウがお互いに敵意をいだくようになった理由を尋ねた修行僧に対して語られたものです。

登場する鳥の王に即位した黄金のガチョウはお釈迦さまの前世の姿です。

フクロウはカラスの悪口に腹を立て、鳥の王になりそなってしまうました。

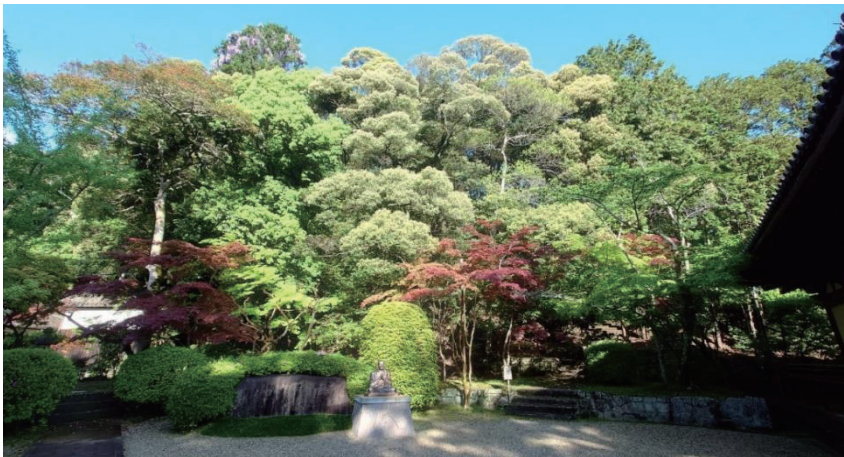
このお話では、代表的な煩惱の一つ瞋恚(怒り)は、私たちの心を激しく害し、仏道の妨げになることを表し、いかなる時でも、それを制御しなければならないと戒めています。



## 国際奉仕セミナー



4月29日にリーガロイヤルホテル京都にて開会されました「国際奉仕セミナー」に中井青少年交換委員長が出席致しました。



第29回（通算2508回）例会予告  
例会日 令和6年5月23日（木）

「平城京RC合同移動例会」

霊山寺にて

◎5月16日は休会です